

【会議結果報告】 平成29年度 第2回 雲仙市総合計画等審議会

日 時	平成29年10月11日(水) 13:34~15:20
場 所	雲仙市役所 本館3階 会議室1~3
出席者 (順不同)	深堀委員、小田委員、酒井恭二委員、深尾委員、齋藤委員、島寄委員、佐々木委員、境川委員、竹下委員、本多幸成委員、平田委員、前田委員、臼井委員、西田委員、絹中委員、土井委員、中村委員、宮崎委員、小森委員、酒井利和委員(委員10名欠席)
事務局	総務部 政策企画課
議題及び 議事概要	<p>【議事概要】</p> <p>(1) 雲仙市まち・ひと・しごと創生総合戦略平成28年度事業の効果検証 【対象事業】 定住促進対策事業、ふるさと応援推進事業 【主な意見】 ・ただ、単に数値合わせをするのではなく、「どのような事業が、どう働いて、どれだけ実績が出たのか」という観点で分析することが必要。 ・ふるさと応援推進事業は、インパクトのある取組みを行ってほしい。</p> <p>(2) 雲仙市の人口動向について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5歳階級年齢における5年間での推移(国勢調査) ・ 平成27年国勢調査における転入元・転出先 ・ 19~49歳になる人で18歳以下の子どもがいる人数 ・ 転入者・転出者アンケートの結果 <p>(3) 意見交換(テーマ:若者(25~39歳)の定住について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「雇用、産業」の視点での意見 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内の地域で人口減少の差があるため、地域に応じた対策が必要。 ・ 若い世代が安心して働ける場の確保に向け、雇用する立場である40~50代の世代に対して産業育成を支援し、生涯安心して働き続けられる雇用に結びつけることが必要。 ・ 市、県、国の制度について、周知を徹底することが必要。 ○ 「子育て等の福祉、暮らし」の視点での意見 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育のなかで、副読本などを活用し、子どもたちへ市の魅力をアピールしていくことが必要。 ・ 定住する人に対して奨学金返還の免除(半額または全額)などの制度の創出が必要ではないか。 ・ 行政が積極的に婚活に関わることが必要。 ・ 市のベッドタウン化を検討してみてもどうか。